



【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

## 白銀の世界

本号が配付されるころ、2月7日から9日まで2年生のスキー移動教室が行われ、毎度おなじみの女神湖高原学園に行っています。

原稿は出発前に書いているのですが、出発前から楽しみにしていることがあります。それは「生徒主体」の2年生の動きです。どこでも聞くことばですが、本校では「生徒主体」をととても大切にしています。

学校での学びの一つに、日常と異なる集団生活を通して、社会性やよりよい人間関係を築くことが挙げられます。ここに、自分たちでよりよくしようとする意志が加わると、とてつもない教育効果を期待することができます。

きっとお互いをリスペクトしつつ、有意義な宿泊体験を積み重ねながら、成長して帰ってくるのではないかと思います。スキーは生涯スポーツと言われます。そんなスキーを楽しみながら、生涯にわたって思い出となるようなスキー移動教室になることでしょう。



昨年の風景です。天候に恵まれるといいですね。

## 地域とともに



生徒会本部役員が地域の方といっしょに仮設トイレを組み立てました。

能登半島地震の被害の大きさが分かるとともに、改めて地域防災の大切さを実感します。被災した地域の中学生が集団避難している様子を、ニュースで報じています。同じ年頃の生徒たちをあずかる中学校長としては、決して人ごとではなく、いざというときにどのように動けるか、ということを考えさせられました。

日本全国には、中学生が避難所を運営する訓練をしている自治体があります。訓練を実施した自治体は、中学生ができることとして、避難所の受付や、使用する教室の割り振り、避難者の誘導や備蓄食料の運搬などが挙げられます。これは、初期の避難におけるほとんど全てと言ってもいいでしょう。つまり、中学生は避難所運営の主力になるのです。

令和5年は、地域の避難所運営訓練に生徒会本部役員のみなさんが参加しました。地域のみなさまにもあたたかく受け止めていただき、仮設トイレの設置や備品の確認などをすることができました。災害は決して人ごとではありません。どうしたら被害を減らせるか、被災したあとどうやって助け合って生き延びるか、そういうことを準備する時代です。令和6年度は、その点を強く意識し、中学生が主体的に取り組む防災訓練を、地域のみなさまとともに実施していきます。

牛込二中ホームページです。  
新しい情報やお知らせなど、こちらを通じて連絡いたします。



「新・校長日記」は2月5日より再開しました。7日からはスキー教室の様子を随時報告します。

